

2016（平成 28）年度後期
教学改善のための授業評価アンケート
報告書

大阪成蹊大学

調査概要

授業評価アンケート結果（大学）

調査票

調査概要

1) 調査目的

本アンケートは、個々の授業に対する学生の率直な意見を聴取し、学生にとってより分かり易く、教育効果の高い授業を展開することができるよう、授業の充実や改善、新しい授業方法の開発等に資することを目的に実施しています。受講者数が10名未満の授業を除き、ほぼすべての授業科目を対象としています。また、平成28年度より、ピアノ科目用の授業評価アンケートを作成し、授業の性格をより考慮したアンケートを実施できるようになりました。

2) 調査項目

<一般科目>

- ・回答者の基本属性（所属学部、学年、性別、学生区分）
- ・「授業への学生の取り組み」に関する項目（5問）
- ・「授業内容と授業の進め方」に関する項目（14問）
- ・「授業を通して得られたこと」に関する項目（8問）
- ・自由記述項目（1問）

<ピアノ科目>

- ・回答者の基本属性（所属学部）
- ・「授業への学生の取り組み」に関する項目（4問）
- ・「授業内容と授業の進め方」に関する項目（9問）
- ・「授業を通して得られたこと」に関する項目（8問）
- ・自由記述項目（1問）

3) 調査対象

本学の2016（H28）年度後期開講の全授業（※受講者が10名未満のクラスの場合、担当教員の任意で実施）、及びこれらの授業を履修している全学生

4) 調査方法

- ・調査期間の授業出席者（原則1週目）に対して無記名式の調査を行う。
- ・アンケート用紙の配付・回収は、教員が指名した学生2名が行う。学生指名後、教員は退室する。
- ・指名学生がアンケート用紙を配付。
- ・指名学生はアンケート用紙を回収後、回収用封筒に封入・封緘し、教務課に提出する。

5) 調査期間

2017（H29）年1月6日（金）～2017（H29）年1月23日（月）（※原則、1週目に実施）

6) 調査実施率と回収率

◆大学

		対象科目数	実施科目数	調査実施率
配当 所属	マネジメント学部	133 科目	118科目	88.7%
	教育学部	138 科目	130科目	94.2%
	芸術学部	137 科目	129科目	94.2%
	大学共通	127 科目	122科目	96.1%
	教職	18 科目	13科目	72.2%
	博物館	4 科目	3科目	75.0%
2016 (H28) 後期 計		557科目	515科目	92.5%

平均有効回収率 64.7%

7) 調査結果の活用

本アンケート結果は、大阪成蹊大学の「授業評価アンケートの活用」プロジェクトチーム及びIR推進室によって分析され、全学的な会議において報告されました。また、授業ごとのアンケート結果は担当の各教員に返却され、専任・非常勤を問わず全ての教員が、アンケート結果を踏まえた授業改善報告書を作成し、次期授業での授業改善を実践することとしています。

授業評価アンケート結果（大学）

◆経年比較

	2016年前期		2016年後期	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
I 授業への学生の取り組み				
この授業への出席状況	3.78	1.405	3.62	1.421
この授業では、話を熱心に聴き、積極的に取り組んだ。	3.99	1.1	3.97	1.108
「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたり平均学習時間（授業時間を除く）	2.55	1.414	2.58	1.439
「全ての授業（この授業を含む）の予習・復習・課題+その他の自主的な学習」に取り組むために費やした1週間あたり平均学習時間（授業時間を除く）	2.51	1.508	2.66	1.548
この授業の難易度（自分にとって）	3.37	0.87	3.4	0.853
II 授業内容と授業の進め方				
説明は簡潔で分かりやすかった。	3.83	1.073	3.81	1.049
学生の反応や理解に合わせて授業を進めてくれた。	3.83	1.068	3.82	1.049
学生が関心を持てるように工夫して授業を進めてくれた。	3.87	1.055	3.85	1.035
学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えてくれた。	3.84	1.049	3.83	1.031
学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促してくれた。	3.84	1.043	3.81	1.035
学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバックをしてくれた。	3.86	1.022	3.84	1.011
教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	3.95	0.989	3.92	0.981
テキストや配布資料は適切で分かりやすかった。	3.89	1.019	3.86	1.01
黒板やパワーポイントの文字は大きさが適切で見やすかった・教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。	3.91	1.028	3.88	1.005
教員の授業に対する熱意を感じた。	4.03	0.977	4.01	0.97
教員は授業の準備を十分にしていた。	4.07	0.961	4.04	0.948
教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	3.97	0.992	3.91	0.981
教員の指導によってクラス全体が集中して学んでいた。	3.84	1.036	3.84	1.01
教員は学生からの意見（日々の感想や学期途中の授業評価アンケートなど）をもとに授業方法や授業環境の改善に取り組んでいた。	3.86	1.006	3.84	0.986
III 授業を通して得られたこと				
この分野の専門的知識や技能が身についた。	3.95	0.964	3.95	0.947
学習力や思考力が高まった。	3.91	0.978	3.9	0.958
知的好奇心や探究心が高まった。	3.9	0.996	3.88	0.976
考え方や社会的視野が広がった。	3.9	0.994	3.9	0.966
コミュニケーションする力（他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力）が高まった。	3.73	1.065	3.69	1.06
本授業における到達目標（知識、技能、態度等）を達成できた。（※到達目標がわからない場合や覚えていない場合は①）	3.61	1.209	3.56	1.226
今後の学校生活、社会生活、及び人生全般において役立つと思う。	3.95	0.99	3.93	0.969
全体として、この授業を受けて満足した。	3.96	1.019	3.93	0.998

2016年度前期の値と比較して、各質問項目の平均値、標準偏差ともに大きな変化はなく、類似した傾向にあることがうかがえる。全体満足度は前期3.96、今期3.93で高い水準を維持している。

◆条件による「全体満足度」の違い

全体満足度 * 学部

所属学部学科等	平均値	標準偏差	度数
マネジメント	3.74	1.075	3411
教育	4.01	.952	3214
芸術	4.02	.948	4562
合計	3.94	.998	11189

全体満足度 * 性別

性別	平均値	標準偏差	度数
男性	3.94	1.031	3757
女性	3.94	.964	7108
その他	3.64	1.212	264
合計	3.94	.995	11129

全体満足度 * 教員区分

教員区分	平均値	標準偏差	度数
専任	3.95	.991	6813
非常勤	3.92	1.008	4731
合計	3.93	.998	11544

全体満足度 * 授業形態

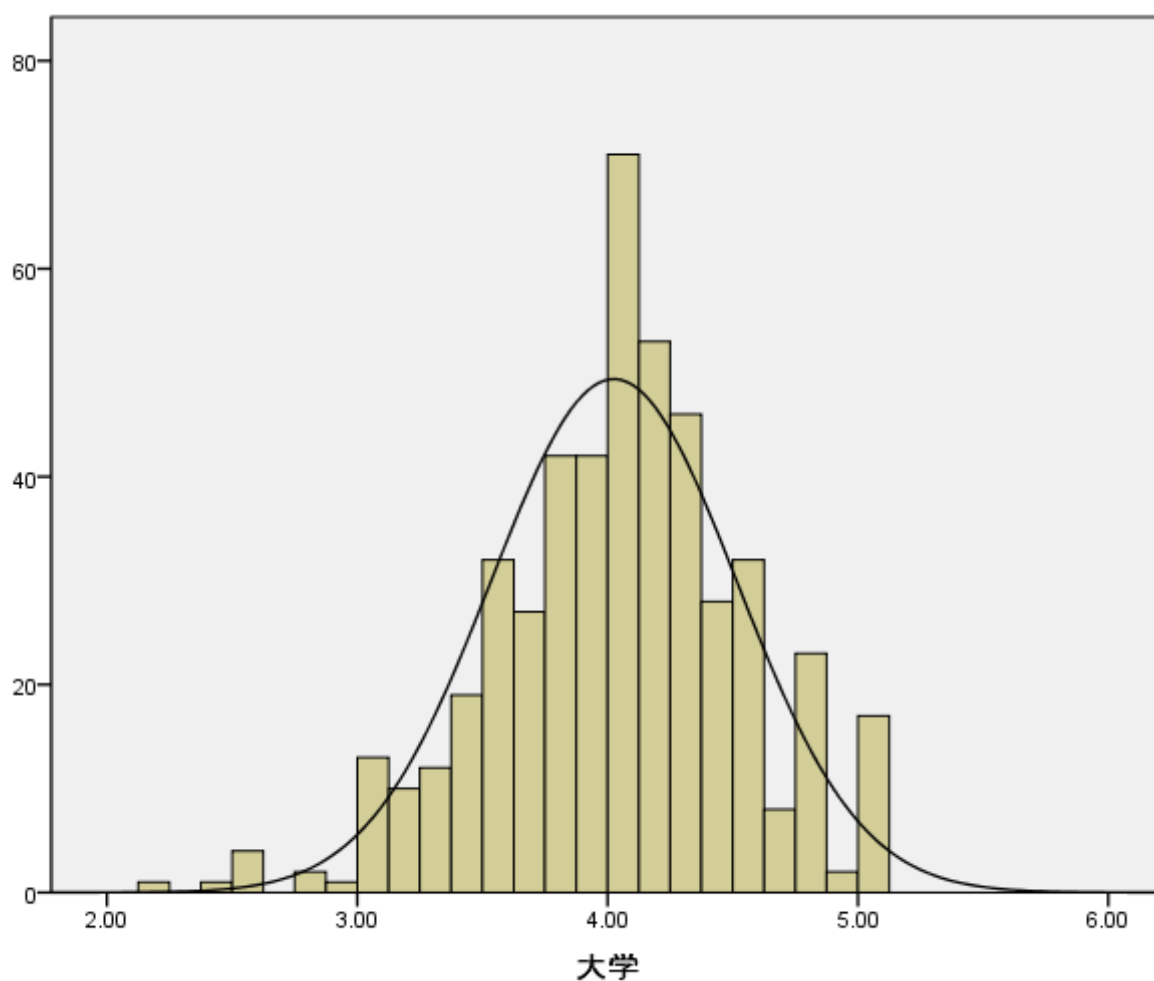
授業形態	平均値	標準偏差	度数
講義	3.88	1.002	5957
演習	3.99	.994	5224
実技	4.13	.915	98
実験・実習	3.99	.959	265
合計	3.93	.998	11544

全体満足度 * 授業規模

授業規模	平均値	標準偏差	度数
～19人	4.19	.945	1547
20～39人	3.99	.962	3655
40～79人	3.91	1.006	3286
80人以上	3.76	1.025	3056
合計	3.93	.998	11544

全体満足度は学部により若干の差があるが、性別、教員区分による差は見られない。また、講義よりも演習、実技、実験・実習の全体満足度が高くなっている。授業規模としては、履修人数が少ない授業ほど全体満足度が高くなっている。

◆全体満足度の分布



◆重回帰分析の結果

「全体満足度」を従属変数として、重回帰分析を行った。その結果、学生が話を熱心に聴き、積極的に取り組んだ授業の満足度が高いことがわかった。また、教員の授業に対する工夫やテキスト・配布資料のわかりやすさ、授業に対する熱意などが学生の満足度を高めていることが示された。さらに、専門知識や技能が身につく、知的好奇心を刺激し、社会的視野が広がる授業が学生の満足度を高めていることが明らかになった。

◆総評

質問項目「全体として、この授業を受けて満足した」（全体満足度）の値が5段階評価で4ポイント近くを示し、今期も前期に引き続き高い授業満足度を維持していることがわかった。また、全体満足度の分布からも大きな偏りは見られない。

こうした高い授業満足度を導いた要因を重回帰分析の結果から考えると、教員が熱意をもって、工夫をこらし、授業の質向上に取り組んでいることが最も大きいと考えられる。教員が、学生の知的好奇心や探求心を刺激し、学生の社会的視野を広げる授業を展開することによって、学生は積極的に授業に参加するようになり、授業満足度が高まっていると考えられる。

調査票

このアンケートは、教学の改善充実を図ることを目的にしています。調査の回答内容が成績に影響することはありません。この科目のこれまでの授業を振り返り、該当する回答選択肢にマーク（数字を塗り潰し）してください。

[記入上の注意]

- ① 原則としてHB以上の鉛筆等を使用し、該当番号の枠内を濃く完全に塗り潰してください。
- ② 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
- ③ 回答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。

〈良い例〉 ● 〈悪い例〉 ○ ● ● ● ●

授業科目名	
教員名	

大 学	マネジメント学部 ①	短期 大学	生活デザイン ④	幼児教育 ⑨
	教育学部 ②		調理 ⑤	観光 ⑩
	芸術学部 ③		製菓 ⑥	経営会計 ⑪
			フードコーディネーター ⑦	グローバルコミュニケーション・創造文化 ⑫
			栄養 ⑧	
学年	① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生 ④ 4年生 ⑤ 5年生以上			
性別	① 男性 ② 女性 ③ その他（または答えたくない）		学生区分	① 一般学生 ② 留学生

I 授業への学生の取り組み

1. この授業への出席状況	① 4回以上欠席	② 3回欠席	③ 2回欠席
	④ 1回欠席	⑤ 全回出席	
2. この授業では、話を熱心に聴き、積極的に取り組んだ。	① そう思わない	② あまりそう思わない	③ どちらともいえない
	④ ややそう思う	⑤ そう思う	
3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）	① 全くしていない（0分）	② 30分未満	③ 30分～1時間未満
	④ 1時間～2時間未満	⑤ 2時間以上	
4. 「全ての授業（この授業を含む）の予習・復習・課題＋その他の自主的な学習」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）	① 1時間未満	② 1時間～2時間未満	③ 2時間～4時間未満
	④ 4時間～6時間未満	⑤ 6時間以上	
5. この授業の内容は自分にとって	① 簡単すぎた	② やや簡単だった	③ 適切だった
	④ やや難しかった	⑤ 難しすぎた	

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

そう 思わ ない	あ ま り 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
----------------	---------------------------------	---	----------------------------	------------------

II 授業内容と授業の進め方

1. 説明は簡潔で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
2. 学生の反応や理解に合わせて授業を進めてくれた。	①	②	③	④	⑤
3. 学生が関心を持てるように工夫して授業を進めてくれた。	①	②	③	④	⑤
4. 学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えてくれた。	①	②	③	④	⑤

～裏面も回答してください～

II 授業内容と授業の進め方（続き）

	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
5. 学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促してくれた。	①	②	③	④	⑤
6. 学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバックをしてくれた。	①	②	③	④	⑤
7. 教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
8. テキストや配布資料は適切で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
9-1.（講義・演習科目の場合） 黒板やパワーポイントの文字は大きさが適切で見やすかった。 9-2.（実技・実験・実習科目の場合） 教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	①	②	③	④	⑤
11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	①	②	③	④	⑤
12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	①	②	③	④	⑤
13. 教員の指導によってクラス全体が集中して学んでいた。	①	②	③	④	⑤
14. 教員は学生からの意見をもとに授業方法や授業環境の改善に取り組んでいた。	①	②	③	④	⑤

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

III 授業を通して得られたこと

	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. この分野の専門的知識や技能が身についた。	①	②	③	④	⑤
2. 学習力や思考力が高まった。	①	②	③	④	⑤
3. 知的好奇心や探究心が高まった。	①	②	③	④	⑤
4. 考え方や社会的視野が広がった。	①	②	③	④	⑤
5. コミュニケーションする力（他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力）が高まった。	①	②	③	④	⑤
6. 本授業における到達目標（知識、技能、態度等）を達成できた。 （※到達目標がわからない場合や覚えていない場合は①をマークしてください）	①	②	③	④	⑤
7. 今後の学校生活、社会生活、及び人生全般において役立つと思う。	①	②	③	④	⑤
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	①	②	③	④	⑤

IV 自由記述欄（この授業に対する意見、改善点を自由に記述ください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。）

このアンケートは、教学の改善充実を図ることを目的にしています。調査の回答内容が成績に影響することはありません。この科目のこれまでの授業を振り返り、該当する回答選択肢にマーク（数字を塗り潰し）してください。

[記入上の注意]

- ① 原則としてHB以上の鉛筆等を使用し、該当番号の枠内を濃く完全に塗り潰してください。
- ② 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
- ③ 回答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。

〈良い例〉 ● 〈悪い例〉 ○ ● ● ● ●

授業科目名	
教員名	

大 学	マネジメント学部 ①	短 期 大 学	生活デザイン ④	幼児教育 ⑨
	教育学部 ②		調理 ⑤	観光 ⑩
	芸術学部 ③		製菓 ⑥	経営会計 ⑪
			フードコーディネーター ⑦	グローバルコミュニケーション・創造文化 ⑫
			栄養 ⑧	

I 授業への学生の取り組み

1. この授業への出席状況	① 4回以上欠席 ④ 1回欠席	② 3回欠席 ⑤ 全回出席	③ 2回欠席
2. この授業では、話を熱心に聴き、積極的に取り組んだ。	① そう思わない ④ ややそう思う	② あまりそう思わない ⑤ そう思う	③ どちらともいえない
3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）	① 全くしていない（0分） ④ 1時間～2時間未満	② 30分未満 ⑤ 2時間以上	③ 30分～1時間未満
4. この授業の内容は自分にとって	① 簡単すぎた ④ やや難しかった	② やや簡単だった ⑤ 難しすぎた	③ 適切だった

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

II 授業内容と授業の進め方

	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. 説明は簡潔で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
2. 学生の反応や理解に合わせて授業を進めてくれた。	①	②	③	④	⑤
3. 学生が関心を持てるように工夫して授業を進めてくれた。	①	②	③	④	⑤
4. 学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えてくれた。	①	②	③	④	⑤
5. 学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバックをしてくれた。	①	②	③	④	⑤
6. 教員は各回の授業のテーマや目標、グレード全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
7. 教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
8. 教員の授業に対する熱意を感じた。	①	②	③	④	⑤
9. 「こどもが大好きなたの本」を用いた練習は充実していた。	①	②	③	④	⑤

～裏面も回答してください～

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

Ⅲ 授業を通して得られたこと

	そう 思わない	あ まり そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. ピアノ技能が身についた。	①	②	③	④	⑤
2. 楽曲の理解力が高まった。	①	②	③	④	⑤
3. 音楽に関する知的好奇心や探究心が高まった。	①	②	③	④	⑤
4. 音楽に関する考え方や社会的視野が広がった。	①	②	③	④	⑤
5. 表現する力が高まった。	①	②	③	④	⑤
6. 本授業における到達目標（知識、技能、態度等）を達成できた。 （※到達目標がわからない場合や覚えていない場合は①をマークしてください）	①	②	③	④	⑤
7. 今後の学校生活、社会生活、及び人生全般において役立つと思う。	①	②	③	④	⑤
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	①	②	③	④	⑤

Ⅳ 自由記述欄（この授業に対する意見、改善点を自由に記述ください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。）